

名村造船所が業績予想を下方修正－格付への下押し圧力強まる

以下は、株式会社名村造船所（証券コード：7014）が18/3期通期業績予想の下方修正を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 昨日、当社は18/3期通期業績予想の修正を発表した。第4四半期に確定した鋼材価格の大幅な値上げと円高に加え、受注競争激化による受注船価の低迷などにより損失が膨らんだ。また、連結子会社である佐世保重工業の欧州船主向け中型油送船建造において想定以上の高仕様・高品質を求められたことや、過去の合理化による人材流出と設備更新の遅れで工程混乱や納期遅延が生じたことも影響した。これにより、18/3期営業利益は194億円の赤字（前回会社予想比152億円の悪化）、親会社株主に帰属する当期純利益は206億円の赤字（同159億円の悪化）となる見込みである。
- (2) JCRは17年12月1日に当社の格付を据え置き、見通しを安定的と公表した。これは①18/3期も営業損失が見込まれるものの、海運市況は持ち直しつつあり、17/3期に比べて赤字幅の縮小が見込まれること、②良好な財務基盤を維持しており、業績の動向を見守る余裕があること一を踏まえたものである。しかし、損失拡大により、財務構成の悪化はJCRの想定以上に大きくなる見通しである。足元の事業環境は好転しつつあるとはいえ、依然として不透明な状況にあり、格付に対する下押し圧力は強まったと見ざるを得ない。JCRは、今後の業績と財務構成の見通しを確認し、格付に反映していく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：株式会社名村造船所

長期発行体格付：BBB+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル